

輸送動向について(12月分)

平成19年1月

1. 輸送概況

今月は、上旬に新潟地区での大雨、また下旬には東海道線南荒尾信号場構内での保守用車脱線事故があった他、急速に発達しながら移動した低気圧の影響で関東から東北地方の太平洋側を中心に大雨・強風による輸送障害が発生し、これらの影響により、月全体では高速貨73本、専貨3本が運休した。

荷動きについては、中旬以降は年末需要が旺盛となり(コンテナ貨物としては12月20日に過去最高となる18,218個の発送個数を記録)、強勢な出荷となったものの、月全体では輸送障害の影響を一部に受けた他、暖冬等により石油の出荷が大きく落ち込んだこともあり、全般的にはやや低調に推移し、輸送量全体では前年比98.9%となった。

コンテナ貨物では、化学薬品、エコ関連物資が前年を下回ったものの、政府米の出荷が好調であった農産物の他、堅調な出荷が続く自動車部品、紙・パルプ、化学工業品などが前年を上回り、コンテナ貨物全体では前年比106.7%となった。

車扱貨物では、石灰石が前年を上回ったものの、暖冬等により石油が大きく減送となった他、セメント、化学薬品などが前年を下回り、車扱貨物全体では前年比89.6%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,114	1,982	106.7%	17,466	16,906	103.3%
車 扱	1,481	1,652	89.6%	9,812	10,598	92.6%
計	3,595	3,634	98.9%	27,278	27,504	99.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	141	103	38	136.9%
	生野菜青果物	105	99	6	106.1%
	化学工業品	200	184	16	108.7%
	化学薬品	152	153	-1	99.3%
	食料工業品	329	324	5	101.5%
	紙・パルプ	321	309	12	103.9%
	他工業品	155	134	21	115.7%
	積合せ貨物	238	235	3	101.3%
	自動車部品	65	53	12	122.6%
	エコ関連物資	35	39	-4	89.7%
	その他	373	349	24	106.9%
	コンテナ計	2,114	1,982	132	106.7%
車 扱	石 油	1,023	1,152	-129	88.8%
	セメント	85	125	-40	67.8%
	石灰石	71	61	10	115.5%
	車 両	156	168	-12	92.8%
	紙・パルプ	32	33	-1	96.5%
	化学薬品	49	51	-2	96.3%
	その他	65	62	3	106.2%
	車扱計	1,481	1,652	-171	89.6%
	合 計	3,595	3,634	-39	98.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)